

2025年度（令和7年度）自己点検評価（2026/4～5実施）

本評価は、本校の教育理念・目標に照らし、教育活動、組織・運営、ならびに施設・設備の状況について自ら点検・評価し、結果を公表することにより、組織的かつ継続的な改善（PDCAサイクルの推進）を図ることを目的とします。学生が質の高い実践的な職業教育を享受できる環境を整備するとともに、関連企業や地域社会、保護者等への情報公開を通じて、社会に対する説明責任を果たします。

また、将来的な外部の有識者による「第三者評価」にも対応できるよう、客観的なエビデンス（根拠資料）に基づいた透明性の高い内部質保証の体制を確立します。

各評価項目について、エビデンス（根拠資料）に照らし合わせ、以下の3段階で評価を行います。

- 評価3：基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている場合
 - 評価2：基準をおおむね満たす場合
 - 評価1：基準を満たしておらず改善が必要な場合
- （※評価が「1」または「2」の場合はもちろんのこと、「3」の場合であっても、さらに質を高めるための「課題及び今後の改善方策」を各項目の定性的評価欄に記述し、継続的な改善に努めます。）

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	2	パンフレット、情報公開、学生便覧

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	2	カリキュラム表、年間ターム表、教育課程編成委員会議事録
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	2	カリキュラム表、シラバス、学生便覧、成績評価に関する規定、判定会議議事録、成績管理表、出席管理表
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。 【職業実践専門課程】	2	教育課程編成委員会議事録、シラバス、カリキュラム表、企業との協定書、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	2	シラバス、進級基準・卒業基準、学生便覧、検定試験一覧、成績証明書、卒業判定会議資料
4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	シラバス、進級基準・卒業基準、学生便覧、検定試験一覧、成績証明書、教育課程編成委員会資料、資格試験結果報告書
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	就職票、面談記録、就職活動報告書、就職先一覧

【項目3】学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び入学者の 選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	2	募集要項、パンフレット、HP
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	2	募集活動体制組織図、営業日報、パンフレット、募集要項、ガイダンス、OC・イベントDM・チラシ、他者媒体、HP、SNS
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	学科ごとの入学前課題
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2	クラス担任による個別指導や保護者との連携の記録、面談記録
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	クラス担任制、各種相談窓口の案内パンフレットやチラシ等、個別面談シートや面談記録
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2	クラス担任による個別指導や保護者との連携の記録
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	定期健康診断、外部の健康相談窓口の案内
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	募集要項、奨学金説明会資料
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	就職課の設置、就職支援科目「一般教養」の解説、就活資料の整備、公的就労支援機関との連携

【項目4】教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	学則、求人票、シラバス
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2	カリキュラム、非常勤講師契約書、非常勤講師スケジュール表、時間割、非常勤講師採用者一覧
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2	教職員名簿、実務経験者一覧、校務分掌一覧、各学科・コース年度方針、係・担当一覧表
	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	2	教育課程編成委員会の会議資料、カリキュラム、授業記録
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	教員の研修計画・研修報告書
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【職業実践専門課程】	2	教育課程編成委員会議事録、シラバス
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【職業実践専門課程】	2	研修報告書、各種セミナー等の案内、全専研研修案内

【項目5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2	各種設備・教育備品の一覧表及び点検表
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	2	実習室・教室（自習室として）、教室・玄関ロビー（休憩・飲食スペースとして）開放
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2	危機管理マニュアル、気象警報による休講等の取扱いガイドライン
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書、危機管理マニュアル
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	設備管理者一覧表、各種設備の定期点検票、危機管理マニュアル
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	設備管理者一覧表、各種設備の定期点検、危機管理マニュアル

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2	理事会議事録、評議員会議事録、全体予算書
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業報告書
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	2	理事会議事録、評議員会議事録、年間ターム、カリキュラム表、組織図、校務分掌、就業規則
3 学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	2	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録、各学科の教育課程編成委員会資料
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。 【職業実践専門課程】	2	教育課程編成委員会議事録、各学科の教育課程編成委員会資料
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2	H P、自己評価結果、学校関係者評価結果
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録、各学科の教育課程編成委員会資料
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2	H P、自己評価結果、学校関係者評価結果、パンフレット
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	2	H P、パンフレット、職業実践専門課程別紙様式4